

兵庫県立水産技術センター見学及び学習会

日 時 2016年4月21日（木）午前10:00

集合場所 山陽電車東二見駅

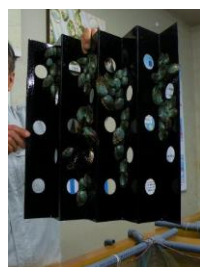
参加者 18名 浅野・大石・甲斐・金高・金戸・児玉・後藤・坂根・杉谷・中曽根・並木・日景
藤木・前野・李三・山下・倭・前窪

今日の形的潮干狩りは強風が予想されているため中止として、急きょ兵庫県立水産技術センターの見学及び学習会に変更。東二見駅に着いたときは雨と予想もしてなかった寒さのなか、タクシーに分乗してセンターに到着。エントランスの頭上には実寸のホホジロザメの剥製が吊っており、歯形も展示されていました。



研修室でセンターの役割く水産資源の調査研究や水産技術開発を行ない、その成果を行政機関や関係団体との活動を通して漁業者に普及したり、行政施策の実施に役立てているという仕事のあらましや資源管理漁業・栽培漁業のビデオ上映や説明を聞く。そのあとに館内で種苗生産（稚魚や稚貝を育てること）している魚介類（マダイ・ヒラメ・カレイ・メバル・キジハタ・カサゴなど）を観察。

館外のふれあいプールでは童心にかえりタコ・ナマコなどにもさわりました。



クロアワビの育成



貝の縞模様は年数



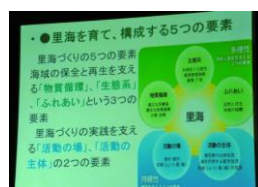
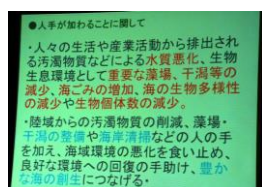
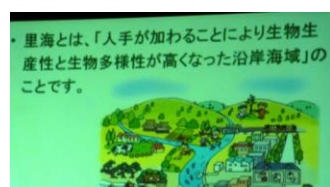
ノリの育成



水槽のタコ壺



稚魚の育成



昼食後は海の栄養の事、海苔の事や、瀬戸内海の現状から豊かな海へ、などのはなしをお聞きしました。

私たちは“森と川と海のつながり、その連環の仕組みを学びながら自然環境と維持保全する意義をつたえてゆく”をスローガンに活動しているので、とても良いお話をお聞きすることが出来ました。

とても寒い日でしたが、有志で魚棚により明石焼きとビールで乾杯して身も心も温かくして帰りました。